

図画工作科の目標
<p>・進んで表したり見たりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。</p> <p>・造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。</p> <p>・身の回りの作品などから、面白さや楽しさを感じとるようにする。</p>

学習すること	
前	<ul style="list-style-type: none"> ○ かたちをいろいろたのしもう ○ おひさまにここに ○ かんじたことを ○ すきなものなあに ○ みんなでかざろう ○ すなやつちとなかよし ○ ねんどでつみき ○ どんなかたちのかみにも
後	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうぶつさんだいすき ○ かげをうつして ○ かたちからうまれたよ ○ ドアのむこうに ○ プレゼントをどうぞ ○ ならべてつんで ○ いろいろぺったん ○ かんじたこと、おもったこと ○ なにになるのかな ○ のってみたいな ○ ニョキニョキとびだせ ○ はこのなかまたち ○ おはなしだいすき ○ コロコロゆらゆら ○ ありがとうたのしかったよ

図画工作科の評価

・図画工作科では四つの観点で評価します。			
造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
思いのままに表したり、作品などを見たりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。	感じたことや材料などを基に表したいことを思い付いたり、形や色、つくり方などを考えたりしている。	体全体の感覚を働かせながら材料や用具を使い、工夫して表している。	身の回りの作品などの形や色などから、面白さに気付いたり、楽しさを感じたりしている。
・次のような方法で見えていきます。			
取り組む様子	作品	発言	つぶやき 対話 話し合い